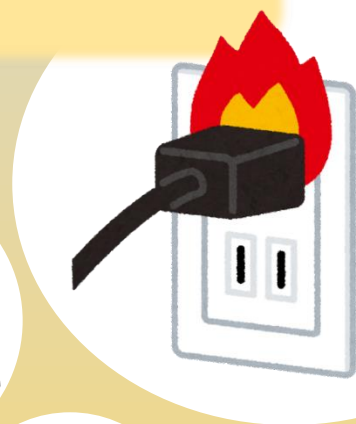
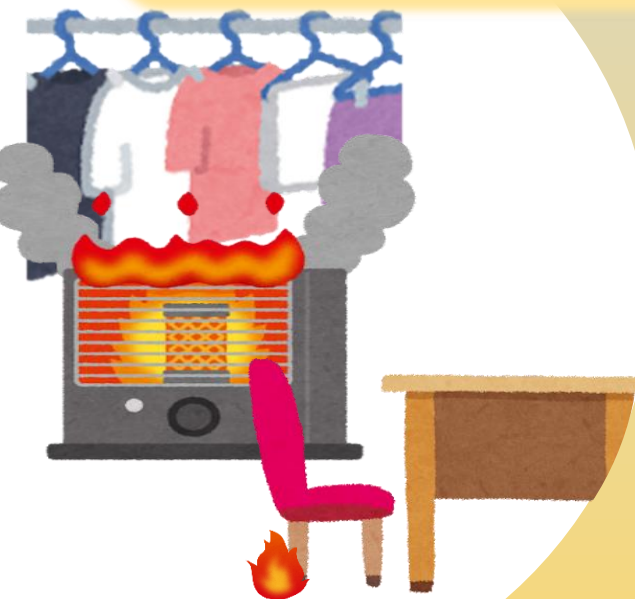


火災のない年末年始にしましょう!

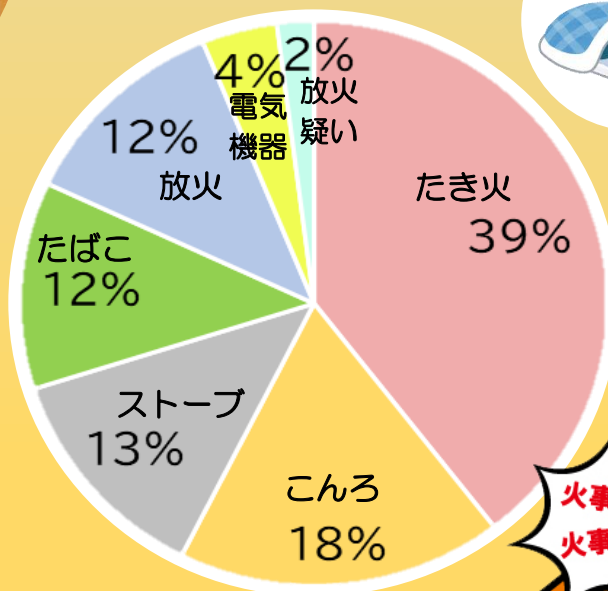


季節から暖房器具などで火を使う機会が多く、また、年末年始は慌ただしさから火に対する注意がおろそかになりがちです。

火災の無い年末年始を迎えていただくために、一人ひとりが防火を心がけることが重要です。年末の大掃除の時期、普段の掃除ではなかなか手が行き届かない家具などの死角となっているコンセントや電気コード、破損が無いか埃が溜まっていないか、潜む火災要因を無くしましょう。



組合管内における
10月～2月の
主な火災原因の割合



住宅用火災警報器 ～火災時の強い味方～

12月、京都中部広域消防組合管内において、椅子に掛けられた衣類がファンヒーターの熱によって出火したと考えられる火災が発生しました。

当時、無人の住宅でしたが、住宅用火災警報器が鳴ったことにより、早期に隣人が気づき、通報したため、大火にはいたりませんでした。

住宅用火災警報器は、火災を早期に知らせてくれる、火災時の強い味方です。

台所や寝室に設置するとともに、電池が切れていないか定期的に点検しましょう。全部が連動して作動する連動型の住宅用火災警報器も有効です。

